

平成22年4月28日公表

平成21年木材統計

- 素材の需要量（供給量）は前年に比べて12.4%減少
国産材素材供給量は前年に比べて6.2%減少 -

【調査結果の概要】

1 素材需給の動向

(1) 素材の需要量

平成21年の素材（丸太）の需要量（供給量）は2,280万3千 m^3 で、住宅需要が大きく落ち込んだことなどにより、前年に比べて323万3千 m^3 （12.4%）減少した。

図1 素材需要量の推移

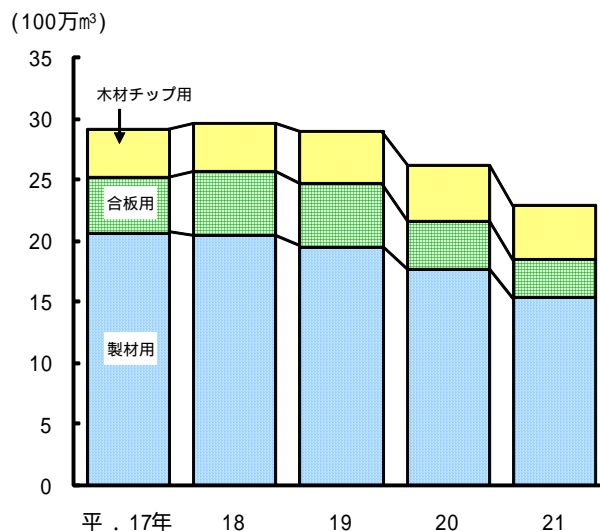


表1 素材需要量

単位 { 実数: 千 m^3
比率: %

区分	全国	対前年比	構成比
素材需要量	22 803	87.6	100.0
製材用	15 279	87.0	67.0
合板用	3 107	77.9	13.6
木材チップ用	4 417	98.5	19.4

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口（e-stat）の「統計データ新着情報」でご覧になれます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

(2) 素材の供給量

素材の供給量（需要量）のうち国産材は1,661万9千m³で、針葉樹のひのきが増加したものの、ひのき以外の針葉樹や広葉樹が減少したことから、前年に比べて109万m³（6.2%）減少した。

また、外材は618万4千m³で、主に米材や北洋材が減少したことから、前年に比べて214万3千m³（25.7%）減少した。

この結果、素材供給量に占める国産材の割合は72.9%となり、前年を4.9ポイント上回った。

表2 素材供給量

区 分	全 国	対前年比	単位 { 実数：千m ³ 比率：%	
			構成比	
素 材 供 給 量	22 803	87.6	100.0	
国 産 材	16 619	93.8	72.9	
外 材	6 184	74.3	27.1	

図2 素材供給量及び国産材供給割合の推移

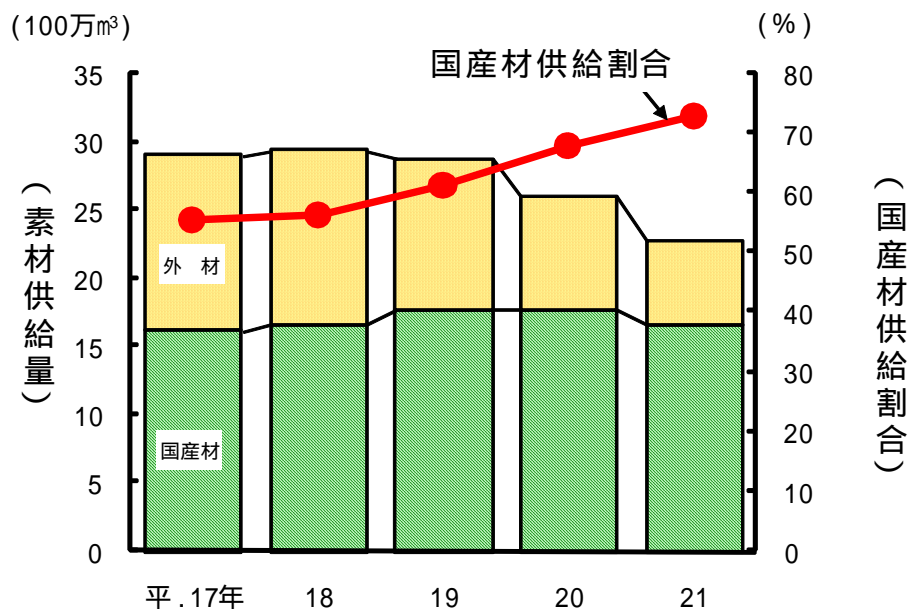


図3 国産材の樹種別素材供給量の推移

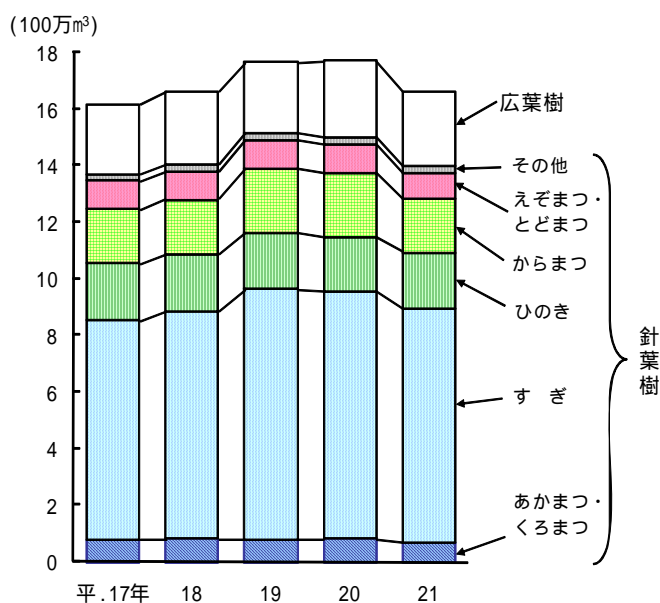
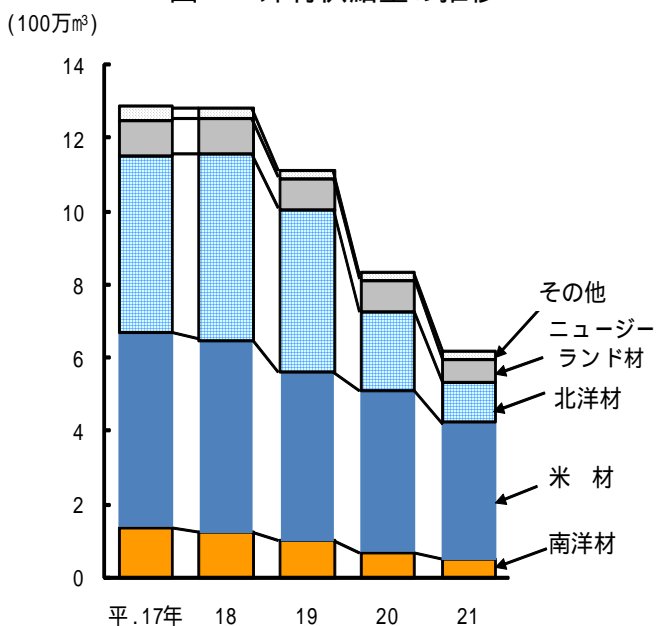


図4 外材供給量の推移



2 製材品出荷量

製材品出荷量は929万 1 千m³で、前年に比べて159万 3 千m³ (14.6%) 減少した。

3 普通合板及び特殊合板生産量

普通合板生産量は228万 7 千m³で、前年に比べて29万 9 千m³ (11.6%) 減少した。
特殊合板生産量は63万 6 千m³で、前年に比べて18万 9 千m³ (22.9%) 減少した。

4 木材チップ生産量

木材チップ生産量は512万 9 千 t で、前年に比べて66万 8 千 t (11.5%) 減少した。

表3 製材品出荷量、合板及び木材チップ生産量

区 分	単 位	全 国	対前年比
			%
製 材 品 出 荷 量	千 m ³	9 291	85.4
普 通 合 板 生 産 量	千 m ³	2 287	88.4
特 殊 合 板 生 産 量	千 m ³	636	77.1
木 材 チ ッ プ 生 産 量	千 t	5 129	88.5

【関連するデータ、情報】

調査結果の利活用

「森林・林業基本計画」における林産物の供給及び利用の目標を算出するための資料（「木材需給表」等）として利用。

関連データ

1 累年統計表

(1) 需要部門別素材需要量

単位：千m³

年次	計	製材用	合板用	木材チップ用
平・17	29 041	20 540	4 636	3 865
18	29 441	20 342	5 183	3 916
19	28 789	19 448	5 227	4 114
20	26 036	17 568	3 986	4 482
21	22 803	15 279	3 107	4 417

資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』

(2) 材種別素材供給量

単位：千m³

年次	計	国産材	外材
平・17	29 041	16 166	12 875
18	29 441	16 609	12 832
19	28 789	17 650	11 139
20	26 036	17 709	8 327
21	22 803	16 619	6 184

資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』

(3) 製材品の出荷量、合板（普通・特殊）生産量、木材チップ生産量

単位：千m³

年次	製材			合板			木材チップ		
	工場数	製材品の出荷量	人工乾燥材	工場数	普通合板生産量	針葉樹合板	特殊合板生産量	工場数	木材チップ生産量
	工場			工場				工場	千t
平・17	9 011	12 825	2 116	271	3 212	2 249	1 037	2 040	6 005
18	8 482	12 554	2 319	263	3 314	2 484	1 102	1 971	5 899
19	7 905	11 632	2 293	248	3 073	2 424	924	1 857	5 894
20	7 378	10 884	2 348	233	2 586	2 156	825	1 744	5 797
21	6 865	9 291	2 280	208	2 287	1 928	636	1 663	5 129

資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』

2 関連統計表

(1) 木材製品輸入量の推移

単位：千m³

年次	製材品	合板	木材チップ
			千t
平・17	8 395	4 574	14 112
18	8 504	4 881	13 776
19	7 354	3 430	14 337
20	6 522	3 063	14 722
21	5 569	2 460	10 478

資料：財務省『貿易統計』

(2) 新設住宅着工数の推移

単位：千戸

年次	合計	木造住宅	非木造住宅
平・17	1 236	543	693
18	1 290	559	731
19	1 061	505	556
20	1 093	517	577
21	788	430	358

資料：国土交通省『住宅着工統計』

【調査結果】

1 素材需給の動向

(1) 素材の需要量

素材の需要量（供給量）は2,280万3千 m^3 で、前年に比べて323万3千 m^3 （12.4%）減少した。

これを需要部門別にみると、製材用は1,527万9千 m^3 、合板用は310万7千 m^3 で、住宅需要が大きく落ち込んだことなどから、前年に比べてそれぞれ228万9千 m^3 （13.0%）、87万9千 m^3 （22.1%）減少した。

また、木材チップ用は441万7千 m^3 で、素材・工場残材の減少により前年に比べて6万5千 m^3 （1.5%）減少した。

この結果、需要部門別の構成割合は、製材用が67.0%、合板用が13.6%、木材チップ用が19.4%となった。（詳細は統計表P14～17参照）

(2) 素材の供給量

素材の供給量（需要量）は国産材が1,661万9千 m^3 で、前年に比べて109万 m^3 （6.2%）減少した。これは、住宅需要が大きく落ち込んだことによる。

また、外材は618万4千 m^3 で、主に米材や北洋材等が減少したことから、前年に比べて214万3千 m^3 （25.7%）減少した。これは、住宅需要が大きく落ち込んだことに加え、北洋材については丸太の輸出税率の引き上げ予定により国産材へ移行したことによる。

この結果、素材供給量に占める国産材の割合は72.9%となり、前年を4.9ポイント上回った。（詳細は統計表P14～17参照）

表4 需要部門別、樹種別素材供給量

区分	単位	計	国産材			外材						
			小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	ラワン材	米材	北洋材	ニュージ-ランド材	その他
計	千 m^3	22 803	16 619	13 976	2 643	6 184	493	394	3 732	1 117	634	208
製材用	"	15 279	10 243	10 077	166	5 036	92	8	3 532	671	569	172
合板用	"	3 107	1 979	1 972	7	1 128	399	384	194	443	64	28
木材チップ用	"	4 417	4 397	1 927	2 470	20	2	2	6	3	1	8
対前年比												
計	%	87.6	93.8	93.3	96.7	74.3	73.4	78.2	84.6	51.6	73.2	97.7
製材用	"	87.0	92.2	92.2	92.2	78.0	67.2	57.1	82.8	64.8	68.3	92.5
合板用	"	77.9	92.6	93.8	20.6	61.0	74.6	78.4	143.7	39.4	193.9	121.7
木材チップ用	"	98.5	98.5	99.2	98.0	100.0	1) ...	1) ...	75.0	37.5	1) ...	200.0
構成比												
計	%	100.0	72.9	61.3	11.6	27.1	2.2	1.7	16.4	4.9	2.8	0.9
製材用	"	100.0	67.0	66.0	1.1	33.0	0.6	0.1	23.1	4.4	3.7	1.1
合板用	"	100.0	63.7	63.5	0.2	36.3	12.8	12.4	6.2	14.3	2.1	0.9
木材チップ用	"	100.0	99.5	43.6	55.9	0.5	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2

注：1)は前年結果が0のため対前年比を「・・・」で表示している。

ア 国産材の供給

国産材の供給量（全国計のみ素材生産量と等しい。）を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は1,397万6千 m^3 で、主に製材用の生産量が減少したことから、前年に比べて99万9千 m^3 （6.7%）減少した。

これを樹種別にみると、ひのきは前年に比べて7万1千 m^3 （3.8%）増加したものの、すぎ及びからまつは前年に比べてそれぞれ49万2千 m^3 （5.6%）、37万4千 m^3 （16.3%）減少した。

また、広葉樹は264万3千 m^3 で、主に製材用の生産量が減少したことから、前年に比べて9万1千 m^3 （3.3%）減少した。（詳細は統計表P18・19参照）

表5 国産材の樹種別素材供給量

区分	単位	計	針葉樹							広葉樹
			小計	あかまつ ・ くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ ・ とどまつ	その他	
計	千 m^3	16 619	13 976	704	8 263	1 957	1 923	898	231	2 643
製材用	"	10 243	10 077	235	6 352	1 745	971	716	58	166
合板用	"	1 979	1 972	61	1 176	81	607	30	17	7
木材チップ用	"	4 397	1 927	408	735	131	345	152	156	2 470
対前年比計	%	93.8	93.3	86.4	94.4	103.8	83.7	90.8	99.1	96.7
製材用	"	92.2	92.2	104.4	93.7	98.2	75.6	91.4	74.4	92.2
合板用	"	92.6	93.8	45.2	90.7	324.0	102.5	85.7	89.5	20.6
木材チップ用	"	98.5	99.2	89.7	108.7	156.0	82.1	88.9	114.7	98.0
構成比計	%	100.0	84.1	4.2	49.7	11.8	11.6	5.4	1.4	15.9
製材用	"	100.0	98.4	2.3	62.0	17.0	9.5	7.0	0.6	1.6
合板用	"	100.0	99.6	3.1	59.4	4.1	30.7	1.5	0.9	0.4
木材チップ用	"	100.0	43.8	9.3	16.7	3.0	7.8	3.5	3.5	56.2

イ 外材の供給

外材の供給量を産地材別にみると、米材は373万2千 m^3 、北洋材は111万7千 m^3 、ニュージーランド材は63万4千 m^3 で、前年に比べてそれぞれ67万8千 m^3 （15.4%）、104万9千 m^3 （48.4%）、23万2千 m^3 （26.8%）減少した。（詳細は統計表P14～17参照）

2 製材

(1) 製材工場数、製材用動力の出力数及び従業者数（平成21年12月31日現在）

製材工場数は6,865工場で、前年に比べて513工場（7.0%）減少した。これを製材用動力の出力階層別にみると、主に「37.5～75.0kW未満」、「22.5～37.5kW未満」及び「75.0～150.0kW未満」の階層においてそれぞれ319工場（12.1%）、88工場（5.9%）、68工場（5.2%）減少した。

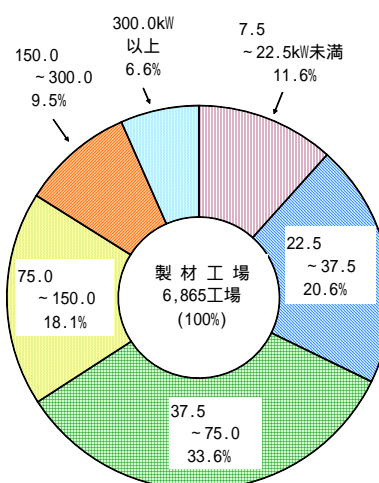
製材用動力の総出力数は72万883.3kWで、前年に比べて3万2,638kW（4.3%）減少したものの、1工場当たりの出力数は105.0kWで、前年に比べて2.9kW（2.8%）増加した。

従業者数は3万4,970人で、前年に比べて3,290人（8.6%）減少した。（詳細は統計表P20参照）

表6 製材工場数、製材用動力の出力数及び従業者数

出力階層		全 国	対前年比	構成比
工場数	計	工場 6 865	% 93.0	% 100.0
	7.5～22.5kW未満	799	101.1	11.6
	22.5～37.5	1 413	94.1	20.6
	37.5～75.0	2 309	87.9	33.6
	75.0～150.0	1 241	94.8	18.1
	150.0～300.0	649	95.3	9.5
	300.0kW以上	454	96.8	6.6
総出力数		kW		
1工場当たり出力数		720 883.3	95.7	-
1工場当たり出力数		105.0	102.8	-
従業者数		人		
従業者数		34 970	91.4	-

図5 製材工場数の出力階層別構成割合



(2) 製材用素材消費量

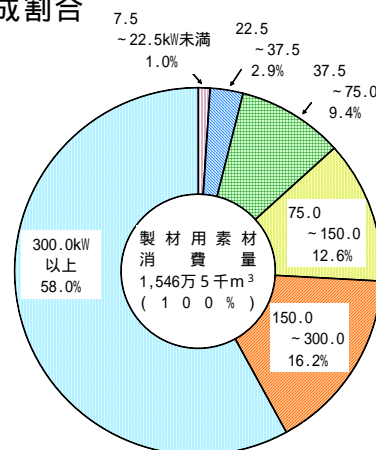
製材用素材消費量は1,546万5千m³で、前年に比べて215万4千m³（12.2%）減少した。これを製材用動力の出力階層別にみると、主に「300.0kW以上」、「150.0～300.0kW未満」及び「75.0～150.0kW未満」の階層においてそれぞれ105万6千m³（10.5%）、40万4千m³（13.9%）、32万3千m³（14.3%）減少した。

なお、1工場当たりの素材消費量は2,253m³で、前年に比べて135m³（5.7%）減少した。（詳細は統計表P22参照）

表7 製材用動力の出力階層別素材消費量

出力階層	消費量	対前年比	構成比
	千m ³	%	%
計	15 465	87.8	100.0
7.5～22.5kW未満	162	92.0	1.0
22.5～37.5	447	84.3	2.9
37.5～75.0	1 447	84.1	9.4
75.0～150.0	1 943	85.7	12.6
150.0～300.0	2 500	86.1	16.2
300.0kW以上	8 966	89.5	58.0
1工場当たり消費量		m ³	
1工場当たり消費量		2 253	94.3

図6 製材用素材消費量の出力階層別構成割合



(3) 製材品出荷量

製材品出荷量は929万1千m³で、前年に比べて159万3千m³(14.6%)減少した。

出荷量を用途別にみると、主に建築用材、木箱仕組板・こん包用材及び土木建設用材の用途においてそれぞれ116万5千m³(13.2%)、26万7千m³(21.3%)、6万1千m³(14.6%)減少した。

また、人工乾燥材出荷量は228万m³で、前年に比べて6万8千m³(2.9%)減少したものの、製材品の出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合は24.5%と前年に比べて2.9ポイント上回った。(詳細は統計表P23参照)

図7 用途別製材品出荷量の推移

図8 人工乾燥材出荷量及び

製材品出荷量に占める割合の推移

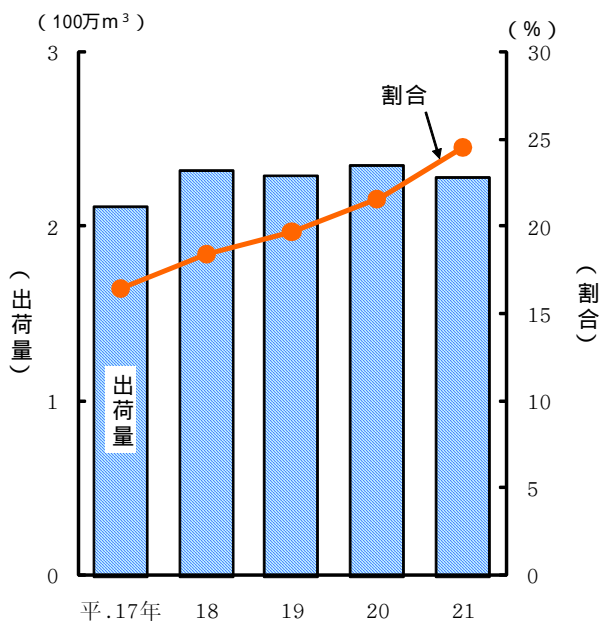
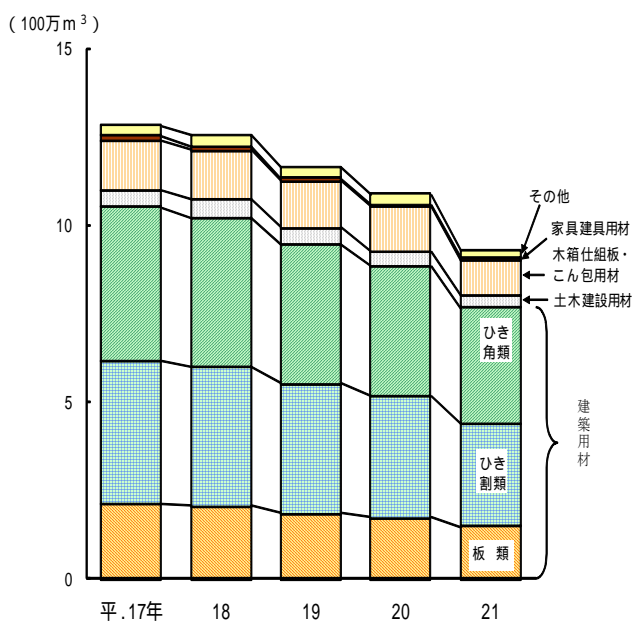


表8 用途別製材品出荷量

単位：千m³

区分	計	建築用材					土木建設用材	木箱仕組板・こん包用材	家具・建具用材	その他用材
		人工乾燥材	小計	板類	ひき割類	ひき角類				
全国	9 291	2 280	7 671	1 494	2 899	3 278	357	987	72	204
対前年比(%)	85.4	97.1	86.8	87.1	84.5	88.8	85.4	78.7	92.3	68.5
構成比(%)	100.0	24.5	82.6	16.1	31.2	35.3	3.8	10.6	0.8	2.2

3 合単板

(1) 合単板工場数及び従業者数（平成21年12月31日現在）

合単板工場数は208工場で、前年に比べて25工場（10.7%）減少した。

これを製造種類別にみると、単板のみ製造している工場、普通合板のみ製造している工場、普通合板と特殊合板を製造している工場及び特殊合板のみ製造している工場においてそれぞれ2工場（9.1%）、3工場（8.3%）、4工場（44.4%）、16工場（9.6%）減少した。

合単板工場の従業者数は8,921人で前年に比べて1,119人（11.1%）減少した。（詳細は統計表P24参照）

表9 合単板工場数及び従業者数（平成21年12月31日現在）

区 分	工 場 数					従業者数 人
	計	単 板 の み	普通合板のみ	普通合板と 特殊合板	特殊合板のみ	
全 国	208	20	33	5	150	8 921
対前年比（%）	89.3	90.9	91.7	55.6	90.4	88.9
構成比（%）	100.0	9.6	15.9	2.4	72.1	-

(2) 普通合板及び特殊合板生産量

ア 普通合板生産量

普通合板生産量は228万7千 m^3 で、前年に比べて29万9千 m^3 （11.6%）減少した。このうち、針葉樹合板生産量は192万8千 m^3 で、前年に比べて22万8千 m^3 （10.6%）減少した。

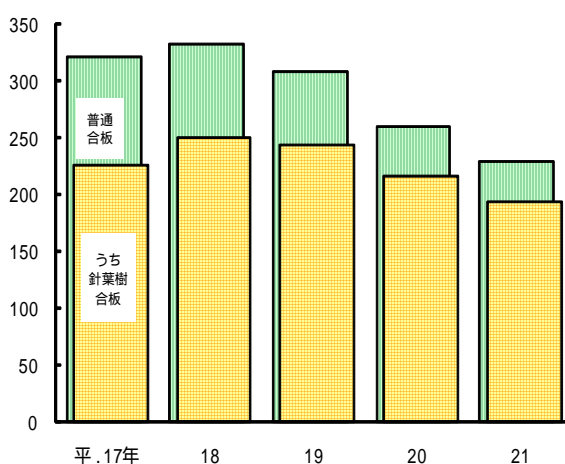
また、厚さ別にみると、主に「12mm以上」及び「6～12mm未満」の階層で前年に比べてそれぞれ20万7千 m^3 （10.0%）、5万4千 m^3 （14.6%）減少した。（詳細は統計表P24・25参照）

表10 普通合板生産量

単位 { 生産量：千 m^3
比率：%

区 分	生産量	対前年比	構成比
普 通 合 板 生 産 量	2 287	88.4	100.0
うち針葉樹合板	1 928	89.4	84.3
（厚さ別普通合板生産量）			
3 mm 未 満	24	72.7	1.0
3 ~ 6 mm	82	73.9	3.6
6 ~ 12 mm	315	85.4	13.8
12 mm 以 上	1 866	90.0	81.6

図9 普通合板生産量の推移
(万 m^3)



イ 特殊合板生産量

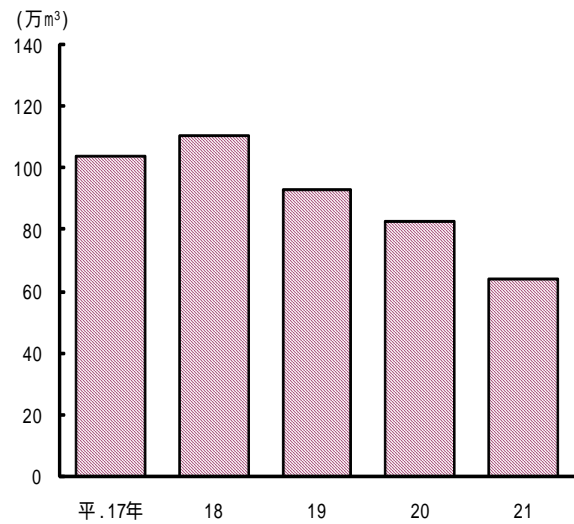
特殊合板生産量は63万6千 m^3 で、前年に比べて18万9千 m^3 （22.9%）減少した。

種類別にみると、主にその他の合板、プリント合板及び天然木化粧合板において前年に比べてそれぞれ11万3千 m^3 （18.3%）、3万4千 m^3 （32.7%）、1万5千 m^3 （31.2%）減少した。（詳細は統計表P25参照）

表11 特殊合板生産量

区 分	生産量	対前年比	構成比
特殊合板生産量	636	77.1	100.0
オーバーレイ合板	17	54.8	2.7
プリント合板	70	67.3	11.0
塗装合板	13	50.0	2.0
天然木化粧合板	33	68.8	5.2
その他の合板	503	81.7	79.1
うち木質複合床板	342	80.7	53.8

図10 特殊合板生産量の推移



4 木材チップ

(1) 木材チップ工場数及び従業者数（平成21年12月31日現在）

木材チップ工場数は1,663工場で、前年に比べて81工場（4.6%）減少した。

これを専門・兼営区分別にみると、木材チップ専門工場は353工場で、前年に比べて16工場（4.3%）減少し、製材又は合板工場との兼営工場は1,310工場で、前年に比べて65工場（4.7%）減少した。

木材チップ工場の従業者数（製材又は合板工場との兼営工場の従業者のうち、主たる業務が木材チップ業務以外の者は除く。）は2,847人で、前年に比べて187人（6.2%）減少した。（詳細は統計表P26参照）

表12 木材チップ工場数及び従業者数（平成21年12月31日現在）

区 分	工 場 数			従業者数 人
	計	木材チップ 専門工場	製材又は合板 工場との兼営工場	
全 国	1 663	353	1 310	2 847
対前年比（%）	95.4	95.7	95.3	93.8
構成比（%）	100.0	21.2	78.8	-

(2) 木材チップ生産量

木材チップ生産量は512万9千tで、前年に比べて66万8千t（11.5%）減少した。

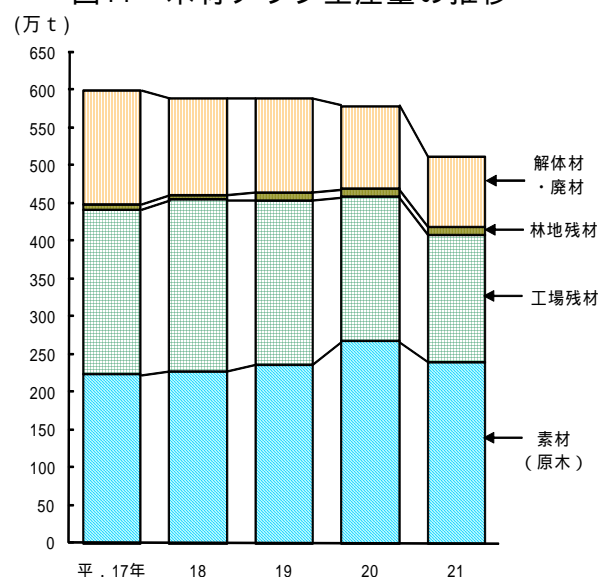
これを原材料別にみると、林地残材は前年に比べて4千t（3.8%）増加したものの、素材(原木)、工場残材及び解体材・廃材は前年に比べてそれぞれ27万8千t（10.4%）、22万4千t（11.7%）、17万t（15.4%）減少した。

また、針葉樹・広葉樹別にみると、針葉樹は259万8千tで前年に比べて11.0%減少し、広葉樹は159万7千tで前年に比べて10.0%減少した。（詳細は統計表P27参照）

表13 木材チップ生産量

区 分	生産量	対前年比	構成比
木材チップ生産量 (原材料別)	5 129	88.5	100.0
素材(原木)	2 398	89.6	46.8
工場残材	1 689	88.3	32.9
林地残材	108	103.8	2.1
解体材・廃材	934	84.6	18.2
(針葉樹・広葉樹別)			
針葉樹	2 598	89.0	-
広葉樹	1 597	90.0	-

図11 木材チップ生産量の推移



注：針葉樹・広葉樹別には解体材・廃材を含んでいない。

【 統 計 表 】

【統計表一覧】

	ページ
1 素材需給	----- 14
2 製材	----- 20
3 合単板	----- 24
4 木材チップ	----- 26

【利用上の注意】

- 1 表中に用いた記号は次のとおりである。
 - 「0」: 単位に満たないもの(例: 0.4千m³ 0千m³)
 - 「-」: 事実のないもの
 - 「x」: 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
- 2 秘匿措置について
統計調査結果について、調査対象数が3未満の場合には調査結果の秘密保護の観点から、該当結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。
なお、全体(計)からの差し引きにより該当結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

【統計表】

1 素材需給
 (1) 材種別素材需要量
 ア 合計

単位：千m³

都道府県	計	国産材			外材						
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	ラワン材	米材	北洋材	ニュージ ランド材	その他
全 国	22 803	16 619	13 976	2 643	6 184	493	394	3 732	1 117	634	208
北 海 道	2 937	2 813	2 215	598	124	16	16	71	20	-	17
青 森	430	412	303	109	18	-	-	8	6	4	0
岩 手	1 233	1 120	777	343	113	34	34	11	66	2	-
宮 城	922	814	725	89	108	-	-	100	8	0	-
秋 田	1 032	919	830	89	113	37	37	2	58	-	16
山 形	292	273	199	74	19	-	-	17	2	-	-
福 島	788	677	510	167	111	0	0	79	17	-	15
茨 城	995	196	146	50	799	2	0	778	1	18	-
栃 木	461	431	409	22	30	0	0	24	6	-	0
群 馬	168	140	121	19	28	0	0	21	4	1	2
埼 玉	79	75	60	15	4	0	0	4	0	-	0
千 葉	168	93	77	16	75	28	28	29	17	1	0
東 京	21	10	10	0	11	3	3	5	0	3	-
神 奈 川	19	16	10	6	3	-	-	3	-	0	-
新 潟	400	135	121	14	265	123	123	37	105	-	0
富 山	403	90	66	24	313	0	0	23	286	3	1
石 川	266	213	199	14	53	1	0	15	37	-	-
福 井	119	99	94	5	20	1	0	19	0	-	-
山 梨	169	160	113	47	9	1	-	7	1	0	0
長 野	237	204	193	11	33	1	-	25	3	4	0
岐 阜	302	260	233	27	42	0	-	30	3	3	6
静 岡	352	248	243	5	104	19	3	68	9	1	7
愛 知	237	62	62	0	175	105	91	48	12	5	5
三 重	426	346	341	5	80	5	4	59	5	2	9
滋 賀	86	54	37	17	32	1	-	12	11	3	5
京 都	428	216	182	34	212	0	-	90	71	5	46
大 阪	19	6	6	0	13	0	-	10	0	2	1
兵 庫	325	125	113	12	200	13	0	30	17	134	6
奈 良	228	139	139	0	89	4	0	70	2	0	13
和 歌 山	319	169	166	3	150	12	0	120	0	1	17
鳥 取	282	92	68	24	190	0	-	6	143	41	-
島 根	546	346	257	89	200	58	54	38	77	27	-
岡 山	408	391	369	22	17	1	-	11	5	0	0
広 島	1 777	339	117	222	1 438	8	1	1 208	22	200	0
山 口	293	122	80	42	171	3	-	155	0	13	0
徳 島	409	287	266	21	122	1	-	100	21	-	-
香 川	56	5	5	0	51	2	0	26	21	2	-
愛 媛	725	411	409	2	314	1	0	274	0	13	26
高 知	476	359	336	23	117	0	-	2	-	115	-
福 岡	382	298	296	2	84	8	0	42	26	1	7
佐 賀	135	128	117	11	7	-	-	7	0	0	-
長 崎	73	62	21	41	11	0	-	7	0	4	-
熊 本	913	857	777	80	56	0	0	6	34	16	-
大 分	704	680	673	7	24	2	-	20	-	2	-
宮 崎	1 251	1 220	1 133	87	31	0	0	15	1	6	9
鹿 児 島	508	505	352	153	3	1	-	0	0	2	-
沖 縄	4	2	0	2	2	2	0	-	-	-	-

イ 製材用

単位：千m³

都道府県	計	国産材			外材						
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	ラワン材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	15 279	10 243	10 077	166	5 036	92	8	3 532	671	569	172
北 海 道	1 633	1 552	1 489	63	81	0	0	61	17	-	3
青 森	173	158	156	2	15	-	-	8	3	4	0
岩 手	469	456	434	22	13	-	-	11	1	1	-
宮 城	209	192	191	1	17	-	-	17	-	0	-
秋 田	378	373	360	13	5	-	-	2	1	-	2
山 形	188	169	168	1	19	-	-	17	2	-	-
福 島	524	413	411	2	111	0	0	79	17	-	15
茨 城	937	138	137	1	799	2	0	778	1	18	-
栃 木	408	378	376	2	30	0	0	24	6	-	0
群 馬	152	124	119	5	28	0	0	21	4	1	2
埼 玉	65	61	56	5	4	0	0	4	0	-	0
千 葉	78	46	46	0	32	0	0	29	2	1	0
東 京	19	9	9	0	10	3	3	5	0	2	-
神 奈 川	9	6	6	0	3	-	-	3	-	0	-
新 潟	240	104	104	0	136	0	0	37	99	-	0
富 山	350	38	37	1	312	0	0	23	285	3	1
石 川	84	58	58	0	26	1	0	15	10	-	-
福 井	79	59	59	0	20	1	0	19	0	-	-
山 梨	31	22	22	0	9	1	-	7	1	0	0
長 野	172	139	136	3	33	1	-	25	3	4	0
岐 阜	274	232	211	21	42	0	-	30	3	3	6
静 岡	309	216	214	2	93	8	1	68	9	1	7
愛 知	140	61	61	0	79	9	1	48	12	5	5
三 重	388	310	310	0	78	3	2	59	5	2	9
滋 賀	51	24	24	0	27	1	-	12	11	3	0
京 都	169	30	30	0	139	0	-	34	59	-	46
大 阪	19	6	6	0	13	0	-	10	0	2	1
兵 庫	286	89	88	1	197	13	0	30	17	134	3
奈 良	228	139	139	0	89	4	0	70	2	0	13
和 歌 山	309	162	162	0	147	12	0	117	0	1	17
鳥 取	48	42	42	0	6	0	-	6	0	-	-
島 根	112	82	82	0	30	4	0	16	-	10	-
岡 山	370	353	353	0	17	1	-	11	5	0	0
広 島	1 512	77	75	2	1 435	8	1	1 205	22	200	0
山 口	259	88	79	9	171	3	-	155	0	13	0
徳 島	282	183	183	0	99	1	-	77	21	-	-
香 川	56	5	5	0	51	2	0	26	21	2	-
愛 媛	702	388	387	1	314	1	0	274	0	13	26
高 知	340	223	223	0	117	0	-	2	-	115	-
福 岡	350	266	265	1	84	8	0	42	26	1	7
佐 賀	116	109	109	0	7	-	-	7	0	0	-
長 崎	30	19	19	0	11	0	-	7	0	4	-
熊 本	633	606	606	0	27	0	0	6	5	16	-
大 分	682	658	658	0	24	2	-	20	-	2	-
宮 崎	1 125	1 094	1 087	7	31	0	0	15	1	6	9
鹿 児 島	288	285	285	0	3	1	-	0	0	2	-
沖 縄	3	1	0	1	2	2	0	-	-	-	-

1 素材需給（つづき）
 (1) 材種別素材需要量（つづき）
 ウ 合板用

単位：千m³

都道府県	計	国産材			外材						
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	ラワン材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	3 107	1 979	1 972	7	1 128	399	384	194	443	64	28
北 海 道	322	281	274	7	41	16	16	10	1	-	14
青 森	x	x	-	x	x	-	-	-	x	-	-
岩 手	344	244	244	-	100	34	34	-	65	1	-
宮 城	544	453	453	-	91	-	-	83	8	-	-
秋 田	x	x	x	-	x	x	x	-	x	-	x
山 形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福 島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨 城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃 木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群 馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼 玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千 葉	x	x	x	-	x	x	x	-	x	-	-
東 京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神 奈 川	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-
新 潟	x	x	x	x	x	x	x	-	x	-	-
富 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石 川	x	x	x	-	x	-	-	-	x	-	-
福 井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山 梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長 野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐 阜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静 岡	x	-	-	-	x	x	x	-	-	-	-
愛 知	96	0	0	0	96	96	90	-	-	-	-
三 重	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋 賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京 都	x	x	x	-	x	-	-	x	x	x	-
大 阪	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x
兵 庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈 良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和 歌 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥 取	x	-	-	-	x	-	-	-	x	x	-
島 根	318	148	148	-	170	54	54	22	77	17	-
岡 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広 島	0	0	-	0	0	0	-	0	-	-	0
山 口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳 島	x	x	x	-	x	-	-	x	-	-	-
香 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛 媛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高 知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福 岡	x	x	-	x	x	x	x	-	-	-	x
佐 賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長 崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 本	x	x	x	-	x	-	-	-	x	-	-
大 分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮 崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿 児 島	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-
沖 縄	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-

エ 木材チップ用

単位：千m³

都道府県	計	国産材			外材						
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	ラワン材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	4 417	4 397	1 927	2 470	20	2	2	6	3	1	8
北 海 道	982	980	452	528	2	-	-	-	2	-	-
青 森	x	x	147	x	x	-	-	-	x	-	-
岩 手	420	420	99	321	-	-	-	-	-	-	-
宮 城	169	169	81	88	-	-	-	-	-	-	-
秋 田	x	x	x	76	x	x	x	-	x	-	x
山 形	104	104	31	73	-	-	-	-	-	-	-
福 島	264	264	99	165	-	-	-	-	-	-	-
茨 城	58	58	9	49	-	-	-	-	-	-	-
栃 木	53	53	33	20	-	-	-	-	-	-	-
群 馬	16	16	2	14	-	-	-	-	-	-	-
埼 玉	14	14	4	10	-	-	-	-	-	-	-
千 葉	x	x	x	16	x	x	x	-	x	-	-
東 京	2	1	1	-	1	0	0	0	-	1	-
神 奈 川	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-
新 潟	x	x	x	x	x	x	x	-	x	-	-
富 山	53	52	29	23	1	-	-	-	1	-	-
石 川	x	x	x	14	x	-	-	-	x	-	-
福 井	40	40	35	5	0	-	-	0	-	-	-
山 梨	138	138	91	47	-	-	-	-	-	-	-
長 野	65	65	57	8	-	-	-	-	-	-	-
岐 阜	28	28	22	6	-	-	-	-	-	-	-
静 岡	x	32	29	3	x	x	x	0	0	-	-
愛 知	1	1	1	0	0	-	-	0	-	-	-
三 重	38	36	31	5	2	2	2	-	-	-	-
滋 賀	35	30	13	17	5	-	-	-	-	-	5
京 都	x	x	x	34	x	-	-	x	x	x	-
大 阪	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x
兵 庫	39	36	25	11	3	-	-	-	-	-	3
奈 良	0	0	0	-	0	-	-	0	-	-	-
和 歌 山	10	7	4	3	3	-	-	3	-	-	-
鳥 取	x	50	26	24	x	-	-	-	x	x	-
島 根	116	116	27	89	-	-	-	-	-	-	-
岡 山	38	38	16	22	-	-	-	-	-	-	-
広 島	265	262	42	220	3	-	-	3	-	-	-
山 口	34	34	1	33	-	-	-	-	-	-	-
徳 島	x	x	x	21	x	-	-	x	-	-	-
香 川	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
愛 媛	23	23	22	1	-	-	-	-	-	-	-
高 知	136	136	113	23	-	-	-	-	-	-	-
福 岡	x	x	31	x	x	x	x	-	-	-	x
佐 賀	19	19	8	11	-	-	-	-	-	-	-
長 崎	43	43	2	41	-	-	-	-	-	-	-
熊 本	x	x	x	80	x	-	-	-	x	-	-
大 分	22	22	15	7	-	-	-	-	-	-	-
宮 崎	126	126	46	80	-	-	-	-	-	-	-
鹿 児 島	x	x	x	153	-	-	-	-	-	-	-
沖 縄	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-

1 素材需給（つづき）

(1) 材種別素材需要量（つづき）

(2) 需要部門別国産材の素材生産量

オ 自県材・他県材別

単位：千³m

都道府県	国産材			計	製材用	合板用	木材チップ用
	小計	自県材	他県材				
全 国	16 619	13 460	3 159	16 619	10 243	1 979	4 397
北 海 道	2 813	2 813	0	2 945	1 568	397	980
青 森	412	347	65	537	255	84	198
岩 手	1 120	1 003	117	1 189	405	305	479
宮 城	814	465	349	494	170	175	149
秋 田	919	736	183	788	365	265	158
山 形	273	242	31	328	155	58	115
福 島	677	553	124	736	406	51	279
茨 城	196	112	84	258	203	13	42
栃 木	431	311	120	371	319	4	48
群 馬	140	128	12	170	133	13	24
埼 玉	75	56	19	65	48	0	17
千 葉	93	75	18	75	46	1	28
東 京	10	10	0	27	12	1	14
神 奈 川	16	14	2	25	10	3	12
新 潟	135	121	14	124	93	13	18
富 山	90	49	41	56	21	5	30
石 川	213	104	109	130	67	29	34
福 井	99	72	27	90	59	6	25
山 梨	160	144	16	165	29	13	123
長 野	204	188	16	305	169	76	60
岐 阜	260	211	49	313	237	29	47
静 岡	248	234	14	265	229	4	32
愛 知	62	50	12	120	114	3	3
三 重	346	226	120	282	238	5	39
滋 賀	54	29	25	42	17	2	23
京 都	216	109	107	139	42	23	74
大 阪	6	4	2	7	4	0	3
兵 庫	125	101	24	170	102	22	46
奈 良	139	124	15	153	139	11	3
和 歌 山	169	136	33	161	144	10	7
鳥 取	92	71	21	119	63	6	50
島 根	346	259	87	283	78	96	109
岡 山	391	285	106	324	263	8	53
広 島	339	261	78	304	71	0	233
山 口	122	109	13	151	101	7	43
徳 島	287	183	104	201	132	44	25
香 川	5	0	5	25	2	-	23
愛 媛	411	344	67	466	402	31	33
高 知	359	311	48	420	295	-	125
福 岡	298	82	216	123	96	-	27
佐 賀	128	52	76	108	86	-	22
長 崎	62	57	5	67	26	-	41
熊 本	857	648	209	794	628	56	110
大 分	680	526	154	734	691	21	22
宮 崎	1 220	1 098	122	1 434	1 242	50	142
鹿 児 島	505	405	100	534	267	39	228
沖 縄	2	2	-	2	1	-	1

(3) 国産材の樹種別素材生産量

単位：千m³

都道府県	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ ・ くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ ・ とどまつ	その他	
全 国	16 619	13 976	704	8 263	1 957	1 923	898	231	2 643
北 海 道	2 945	2 343	0	38	-	1 384	898	23	602
青 森	537	459	70	344	-	30	0	15	78
岩 手	1 189	811	127	420	5	254	-	5	378
宮 城	494	411	41	363	2	5	-	0	83
秋 田	788	700	33	633	-	21	-	13	88
山 形	328	249	13	227	0	8	-	1	79
福 島	736	553	70	414	39	11	-	19	183
茨 城	258	222	2	176	44	0	-	0	36
栃 木	371	355	7	258	84	2	-	4	16
群 馬	170	154	6	113	7	26	0	2	16
埼 玉	65	47	2	27	16	0	0	2	18
千 葉	75	59	5	49	5	-	-	0	16
東 京	27	22	1	15	5	0	-	1	5
神 奈 川	25	16	1	6	9	0	-	0	9
新 潟	124	109	1	107	0	0	0	1	15
富 山	56	43	1	31	1	-	0	10	13
石 川	130	109	5	92	2	0	0	10	21
福 井	90	85	4	78	3	-	-	0	5
山 梨	165	126	24	14	10	18	0	60	39
長 野	305	296	41	49	46	150	0	10	9
岐 阜	313	276	11	131	109	14	0	11	37
静 岡	265	262	3	147	112	0	-	0	3
愛 知	120	120	3	56	61	0	0	0	0
三 重	282	274	2	131	138	0	-	3	8
滋 賀	42	31	4	18	8	-	-	1	11
京 都	139	116	5	84	27	0	-	0	23
大 阪	7	5	1	2	2	-	-	0	2
兵 庫	170	158	5	111	37	-	-	5	12
奈 良	153	151	2	76	71	-	-	2	2
和 歌 山	161	158	0	100	56	-	-	2	3
鳥 取	119	95	14	63	18	0	0	0	24
島 根	283	193	37	140	16	-	-	0	90
岡 山	324	293	20	114	159	-	-	0	31
広 島	304	109	39	47	22	0	-	1	195
山 口	151	108	9	73	26	-	-	0	43
徳 島	201	183	2	133	48	-	-	0	18
香 川	25	2	0	1	1	-	-	0	23
愛 媛	466	464	6	275	183	-	-	0	2
高 知	420	396	8	231	151	-	-	6	24
福 岡	123	116	3	87	20	-	-	6	7
佐 賀	108	101	0	69	32	-	-	-	7
長 崎	67	27	0	17	10	-	-	-	40
熊 本	794	726	9	563	152	0	-	2	68
大 分	734	727	20	596	111	0	-	0	7
宮 崎	1 434	1 345	37	1 234	72	-	-	2	89
鹿 児 島	534	371	10	310	37	-	-	14	163
沖 縄	2	0	-	-	-	-	-	0	2

2 製材

(1) 製材工場数、製材用動力の出力数及び従業者数

単位 { 工場数：工場
従業者数：人

都道府県	製材工場数							製材用 動力の 出力数 kW	従業者数
	計	7.5~ 22.5kW 未 満	22.5 ~ 37.5	37.5 ~ 75.0	75.0 ~ 150.0	150.0 ~ 300.0	300.0kW 以 上		
全 国	6 865	799	1 413	2 309	1 241	649	454	720 883.3	34 970
北 海 道	199	2	7	13	27	76	74	60 124.7	2 317
青 森	132	10	14	52	32	16	8	14 088.8	644
岩 手	180	20	29	60	28	23	20	21 435.3	993
宮 城	133	18	28	51	18	7	11	14 025.2	529
秋 田	129	6	12	38	29	19	25	21 755.3	958
山 形	146	26	34	44	25	9	8	13 249.8	645
福 島	276	27	50	114	55	17	13	24 035.3	1 310
茨 城	162	17	44	42	42	12	5	16 838.8	1 003
栃 木	161	16	45	50	26	15	9	14 387.3	773
群 馬	131	11	25	41	30	15	9	14 301.9	577
埼 玉	90	13	26	32	15	1	3	4 907.5	357
千 葉	182	31	50	57	35	7	2	10 068.6	449
東 京	35	6	8	10	4	3	4	3 724.3	135
神 奈 川	42	21	12	6	3	-	-	1 214.7	97
新 潟	287	41	68	110	45	14	9	20 051.6	1 163
富 山	101	6	25	31	17	10	12	17 186.2	645
石 川	113	5	33	46	20	4	5	9 726.2	334
福 井	186	16	49	93	21	4	3	10 881.2	513
山 梨	45	5	3	25	7	2	3	3 746.9	185
長 野	197	15	32	68	48	23	11	18 652.5	727
岐 阜	326	49	100	107	47	15	8	20 970.4	1 106
静 岡	280	34	65	99	48	25	9	23 615.2	1 273
愛 知	170	20	35	68	29	15	3	11 130.4	699
三 重	345	52	78	128	53	24	10	27 916.3	1 404
滋 賀	152	25	44	58	19	5	1	7 309.0	504
京 都	89	10	14	33	12	9	11	11 022.6	445
大 阪	49	5	14	16	12	1	1	3 419.2	221
兵 庫	158	15	30	60	25	19	9	16 177.8	648
奈 良	237	38	75	81	31	8	4	12 482.9	877
和 歌 山	148	16	26	56	24	18	8	15 831.1	783
鳥 取	56	4	9	21	19	2	1	5 083.0	263
島 根	118	11	21	36	31	14	5	11 171.1	557
岡 山	108	13	14	30	20	17	14	14 511.9	700
広 島	116	9	19	41	24	10	13	29 558.8	1 334
山 口	89	10	18	39	11	6	5	9 864.8	590
徳 島	121	13	16	33	28	21	10	13 666.9	653
香 川	43	3	5	15	9	8	3	4 671.8	266
愛 媛	143	10	10	41	48	21	13	23 160.5	1 040
高 知	120	6	14	42	27	18	13	19 096.4	732
福 岡	168	41	32	44	27	14	10	18 960.0	845
佐 賀	70	15	21	21	8	3	2	5 865.8	270
長 崎	70	5	21	28	13	1	2	4 151.4	171
熊 本	182	18	43	52	39	20	10	20 202.3	1 167
大 分	195	27	30	65	35	23	15	22 247.5	1 189
宮 崎	179	11	24	42	38	32	32	37 321.8	1 873
鹿 児 島	198	27	40	68	34	21	8	16 223.8	951
沖 縄	8	-	1	2	3	2	-	848.5	55

(2) 製材用素材の国産材・外材入荷割合別工場数及び入荷量

単位 { 工場数：工場
入荷量：千m³

都道府県	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
全 国	6 801	15 279	4 543	9 025	1 717	3 190	541	3 064
北 海 道	197	1 633	145	1 335	48	272	4	26
青 森	132	173	101	135	23	36	8	2
岩 手	173	469	107	395	63	73	3	1
宮 城	132	209	75	162	50	37	7	10
秋 田	129	378	116	348	11	x	2	x
山 形	146	188	102	118	43	x	1	x
福 島	276	524	176	312	83	141	17	71
茨 城	162	937	109	125	32	28	21	784
栃 木	161	408	130	368	17	15	14	25
群 馬	131	152	90	90	38	51	3	11
埼 玉	90	65	73	38	9	27	8	0
千 葉	182	78	135	26	36	40	11	12
東 京	35	19	22	6	6	5	7	8
神 奈 川	39	9	33	x	4	1	2	x
新 潟	283	240	127	54	139	99	17	87
富 山	98	350	25	8	47	107	26	235
石 川	113	84	46	29	62	44	5	11
福 井	181	79	100	37	77	41	4	1
山 梨	45	31	24	16	19	x	2	x
長 野	197	172	122	119	55	42	20	11
岐 阜	326	274	216	189	87	63	23	22
静 岡	276	309	152	169	87	86	37	54
愛 知	168	140	85	43	52	64	31	33
三 重	337	388	272	291	52	44	13	53
滋 賀	151	51	63	14	70	20	18	17
京 都	89	169	36	11	43	53	10	105
大 阪	49	19	14	3	22	5	13	11
兵 庫	155	286	85	77	46	35	24	174
奈 良	227	228	176	127	34	71	17	30
和 歌 山	148	309	94	153	26	31	28	125
鳥 取	56	48	32	35	22	x	2	x
島 根	118	112	66	60	51	x	1	x
岡 山	105	370	81	338	19	29	5	3
広 島	115	1 512	83	73	18	948	14	491
山 口	89	259	49	75	26	25	14	159
徳 島	121	282	93	164	14	77	14	41
香 川	43	56	12	2	10	9	21	45
愛 媛	143	702	82	334	48	158	13	210
高 知	120	340	106	216	6	10	8	114
福 岡	164	350	109	242	31	70	24	38
佐 賀	68	116	48	99	20	17	-	-
長 崎	70	30	50	12	15	14	5	4
熊 本	182	633	166	596	13	34	3	3
大 分	194	682	162	624	23	46	9	12
宮 崎	179	1 125	160	1 068	12	43	7	14
鹿 児 島	198	288	191	282	7	6	-	-
沖 縄	8	3	2	x	1	x	5	2

注：工場数は、平成21年に製材用素材の入荷のあった工場数である。

2 製材（つづき）

（3）素材消費量（製材用動力の出力階層別）

単位：千³

都道府県	計	7.5～ 22.5kW 未 満	22.5 ～ 37.5	37.5 ～ 75.0	75.0 ～ 150.0	150.0 ～ 300.0	300.0kW 以 上
全 国	15 465	162	447	1 447	1 943	2 500	8 966
北 海 道	1 711	x	x	13	96	392	1 203
青 森	170	2	5	24	42	49	48
岩 手	476	3	15	46	39	85	288
宮 城	210	5	8	21	47	19	110
秋 田	379	1	5	35	42	60	236
山 形	194	6	4	32	38	12	102
福 島	524	9	14	61	84	65	291
茨 城	975	2	12	36	86	29	810
栃 木	402	2	18	42	38	71	231
群 馬	154	1	3	24	36	32	58
埼 玉	64	2	6	x	15	x	30
千 葉	77	x	11	12	14	19	x
東 京	19	1	2	5	3	3	5
神 奈 川	9	2	1	2	4	-	-
新 潟	238	6	12	40	64	40	76
富 山	368	1	5	10	32	29	291
石 川	86	0	8	17	25	10	26
福 井	78	2	10	38	14	6	8
山 梨	30	x	0	12	7	x	3
長 野	170	3	11	31	41	33	51
岐 阜	278	13	33	54	59	58	61
静 岡	317	13	19	64	84	86	51
愛 知	143	7	5	36	48	40	7
三 重	382	8	21	61	78	83	131
滋 賀	52	6	9	12	9	x	x
京 都	169	1	6	9	18	28	107
大 阪	19	1	1	4	9	x	x
兵 庫	304	1	7	27	16	64	189
奈 良	218	9	36	43	48	66	16
和 歌 山	310	5	9	46	67	87	96
鳥 取	47	1	3	7	21	x	x
島 根	107	1	5	19	26	23	33
岡 山	368	2	5	31	20	70	240
広 島	1 516	1	3	14	22	21	1 455
山 口	260	1	7	21	20	15	196
徳 島	287	8	11	36	57	108	67
香 川	57	1	1	7	33	10	5
愛 媛	703	2	4	42	102	64	489
高 知	347	1	7	21	40	98	180
福 岡	361	9	13	53	52	72	162
佐 賀	135	x	8	15	5	10	x
長 崎	32	1	2	13	11	x	x
熊 本	649	5	24	113	98	128	281
大 分	677	4	15	79	77	147	355
宮 崎	1 116	1	24	67	97	183	744
鹿 児 島	274	8	12	41	57	67	89
沖 縄	3	-	x	x	2	x	-

(4) 用途別製材品出荷量

単位：千m³

都道府県	計		建築用材				土木建設 用材	木箱仕組 板・こん 包用材	家具・ 建具用材	その他
	人工乾燥材	小計	板類	ひき割類	ひき角類					
全 国	9 291	2 280	7 671	1 494	2 899	3 278	357	987	72	204
北 海 道	843	80	359	80	221	58	36	354	20	74
青 森	95	8	64	20	24	20	4	26	1	0
岩 手	255	45	219	60	117	42	14	14	5	3
宮 城	122	17	118	19	39	60	3	1	0	0
秋 田	211	31	193	94	66	33	8	1	4	5
山 形	111	12	104	38	35	31	3	3	0	1
福 島	328	117	302	40	154	108	11	13	0	2
茨 城	560	256	533	31	150	352	1	19	0	7
栃 木	260	112	240	50	53	137	17	2	1	0
群 馬	97	29	77	20	23	34	7	8	1	4
埼 玉	44	15	40	13	6	21	3	1	0	0
千 葉	46	-	45	2	18	25	0	0	0	1
東 京	13	0	11	4	2	5	0	0	0	2
神 奈 川	6	0	3	1	1	1	-	3	0	-
新 潟	159	29	145	20	88	37	10	3	0	1
富 山	242	72	222	11	193	18	15	5	0	0
石 川	54	2	51	9	23	19	2	1	0	0
福 井	50	1	47	9	17	21	2	1	0	0
山 梨	22	0	14	4	7	3	6	1	0	1
長 野	120	19	65	18	19	28	42	8	3	2
岐 阜	184	71	164	47	42	75	8	3	5	4
静 岡	212	39	188	50	65	73	4	9	3	8
愛 知	94	2	65	24	20	21	2	21	2	4
三 重	238	124	209	27	68	114	2	16	2	9
滋 賀	35	4	25	4	11	10	1	7	0	2
京 都	111	60	109	32	52	25	2	0	0	0
大 阪	14	0	9	4	2	3	3	0	1	1
兵 庫	183	25	71	16	31	24	13	83	0	16
奈 良	151	41	137	22	71	44	0	10	3	1
和 歌 山	194	54	163	37	58	68	19	9	1	2
鳥 取	31	10	30	9	9	12	1	-	0	0
島 根	66	6	47	15	14	18	3	12	0	4
岡 山	219	82	207	52	44	111	2	6	2	2
広 島	953	368	812	24	209	579	6	133	1	1
山 口	151	22	121	16	34	71	8	18	1	3
徳 島	188	31	181	71	77	33	4	3	0	0
香 川	41	-	34	10	15	9	1	5	0	1
愛 媛	409	119	355	56	104	195	5	40	0	9
高 知	206	33	117	38	31	48	3	80	4	2
福 岡	227	34	200	29	108	63	11	3	9	4
佐 賀	79	1	66	10	42	14	12	0	0	1
長 崎	22	2	16	3	5	8	1	4	1	0
熊 本	388	74	362	85	129	148	7	19	0	0
大 分	414	69	385	84	141	160	16	2	0	11
宮 崎	663	142	580	155	210	215	32	34	1	16
鹿 児 島	178	22	166	31	51	84	6	6	0	0
沖 縄	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0

3 合単板

(1) 合単板工場数及び従業者数

単位 { 工場数：工場
従業者数：人

地 域	合単板工場数					従業者数
	計	単板のみ	普通合板のみ	普通合板と 特殊合板	特殊合板のみ	
全 国	208	20	33	5	150	8 921
北 海 道	25	10	10	-	5	1 312
東 北	22	3	7	2	10	1 719
関 東	26	1	2	-	23	1 458
北 陸	6	-	3	-	3	633
東 海	33	-	3	2	28	848
近 畿	19	1	1	-	17	840
中国四国	31	3	6	1	21	1 671
九 州	46	2	1	-	43	440

(2) 普通合板生産量 ア 類別生産量

単位：千m³

地 域	計	ベニヤコア合板			特殊コア合板
		小計	1類	2類	
全 国	2 287	2 277	2 097	180	10
北 海 道	175	165	x	x	10
東 北	1 104	1 104	1 098	6	-
関 東	x	x	x	x	-
北 陸	198	198	137	61	-
東 海	69	69	16	53	-
近 畿	x	x	x	-	-
中国四国	497	497	460	37	-
九 州	x	x	x	-	-

イ 厚さ別生産量

単位：千m³

地 域	計	3mm未満	3～6mm	6～12mm	12mm以上
全 国	2 287	24	82	315	1 866
北 海 道	175	0	x	x	137
東 北	1 104	-	11	123	970
関 東	x	-	x	x	21
北 陸	198	14	29	27	128
東 海	69	10	22	9	28
近 畿	x	-	-	x	x
中国四国	497	-	14	112	371
九 州	x	-	-	x	x

ウ 針葉樹合板の厚さ別生産量

単位：千 m^3

地 域	計	3～6mm	6～12mm	12mm以上
全 国	1 928	23	236	1 669
北 海 道	147	-	25	122
東 北	1 025	4	117	904
関 東	x	-	-	x
北 陸	116	6	9	101
東 海	3	-	-	3
近 畿	x	-	x	x
中国四国	419	13	80	326
九 州	x	-	x	x

(3) 特殊合板生産量

単位：千 m^3

地 域	計	オーバーレイ合板	プリント合板	塗装合板	天然木化粧合板	その他の合板	木質複合床板
全 国	636	17	70	13	33	503	342
北 海 道	26	3	2	0	2	19	19
東 北	53	1	0	1	4	47	47
関 東	251	11	36	10	2	192	48
北 陸	0	-	0	-	0	-	-
東 海	93	2	6	-	11	74	74
近 畿	24	0	14	2	5	3	1
中国四国	170	0	0	0	2	168	153
九 州	19	0	12	-	7	0	-

4 木材チップ

(1) 木材チップ工場数及び従業者数

単位 { 工場数：工場
従業者数：人

都道府県	工場数			従業者数
	計	木材チップ専門工場	製材又は合単板工場との兼営工場	
全 国	1 663	353	1 310	2 847
北 海 道	201	29	172	190
青 森	26	6	20	50
岩 手	72	16	56	157
宮 城	44	9	35	97
秋 田	42	14	28	83
山 形	49	8	41	41
福 島	58	11	47	132
茨 城	46	5	41	61
栃 木	59	3	56	47
群 馬	18	1	17	41
埼 玉	17	5	12	54
千 葉	16	5	11	33
東 京	7	1	6	9
神 奈 川	2	1	1	x
新 潟	39	19	20	102
富 山	36	10	26	74
石 川	9	4	5	21
福 井	11	5	6	36
山 梨	25	4	21	27
長 野	72	7	65	52
岐 阜	48	10	38	55
静 岡	82	28	54	151
愛 知	39	12	27	122
三 重	63	4	59	93
滋 賀	7	3	4	32
京 都	35	10	25	74
大 阪	5	5	-	89
兵 庫	48	17	31	82
奈 良	9	3	6	22
和 歌 山	34	10	24	99
鳥 取	9	3	6	20
島 根	16	7	9	66
岡 山	31	4	27	56
広 島	37	16	21	86
山 口	16	3	13	15
徳 島	28	4	24	51
香 川	19	1	18	9
愛 媛	59	3	56	25
高 知	42	6	36	48
福 岡	25	4	21	51
佐 賀	7	4	3	13
長 崎	7	4	3	13
熊 本	34	7	27	44
大 分	40	3	37	64
宮 崎	45	6	39	60
鹿 児 島	27	13	14	90
沖 縄	2	-	2	x

注：製材又は合単板工場との兼営工場の従業員については、主たる業務が木材チップ業務に該当する者のみを計上している。したがって、従業者数が工場数を下回る場合がある。

(2) 木材チップ生産量

単位：千 t

都道府県	計			素材	工場残材	林地残材	解体材 ・ 廃材
		針葉樹	広葉樹				
全 国	5 129	2 598	1 597	2 398	1 689	108	934
北 海 道	758	457	301	499	259	0	-
青 森	163	92	71	139	24	-	-
岩 手	304	106	197	245	58	-	1
宮 城	156	93	56	94	55	0	7
秋 田	144	81	52	82	51	-	11
山 形	98	47	40	53	33	1	11
福 島	220	99	100	148	47	4	21
茨 城	75	23	25	32	16	-	27
栃 木	91	75	16	33	58	-	-
群 馬	54	8	10	9	9	-	36
埼 玉	93	11	6	8	9	-	76
千 葉	25	16	8	13	11	0	1
東 京	6	6	0	2	4	-	-
神 奈 川	x	x	x	x	x	-	-
新 潟	74	16	9	10	3	12	49
富 山	76	49	15	35	29	-	12
石 川	19	10	9	12	7	-	-
福 井	37	23	6	20	3	6	8
山 梨	70	46	24	67	3	-	-
長 野	43	39	4	31	12	-	-
岐 阜	62	43	3	18	27	1	16
静 岡	116	74	5	17	58	4	37
愛 知	191	15	15	1	4	25	161
三 重	78	60	5	16	47	2	13
滋 賀	24	8	13	19	2	-	3
京 都	102	41	24	48	12	5	37
大 阪	250	12	33	-	45	-	205
兵 庫	116	27	31	22	28	8	58
奈 良	17	16	1	0	17	-	-
和 歌 山	85	46	3	5	39	5	36
鳥 取	32	16	16	27	5	-	-
島 根	78	18	60	76	2	-	-
岡 山	66	52	14	14	36	16	0
広 島	398	235	151	172	211	3	12
山 口	48	28	20	20	28	-	-
徳 島	44	32	11	13	29	1	1
香 川	8	4	0	0	4	-	4
愛 媛	147	140	1	16	124	1	6
高 知	98	84	11	63	32	-	3
福 岡	129	43	4	9	31	7	82
佐 賀	14	6	8	10	0	4	0
長 崎	25	1	24	25	0	0	-
熊 本	123	77	46	65	58	-	0
大 分	72	68	4	12	57	3	-
宮 崎	160	111	49	72	88	-	-
鹿 児 島	136	43	93	122	14	-	-
沖 縄	x	x	x	x	x	-	-

注：針葉樹、広葉樹別には、解体材・廃材を含んでいない。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、素材生産並びに木材製品の生産及び出荷等に関する実態を明らかにし、「森林・林業基本計画」における林産物の供給及び利用の目標を算出するための資料などを整備することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、全国の製材工場（製材用動力の出力数が7.5kW以上の工場）、合単板工場及び木材チップ工場で、調査年の12月31日現在で事業を行っている工場及び休業中であってもその休業期間の開始時期が調査年の10月1日以降の工場を対象に調査を実施した。

なお、調査対象については以下のとおり選定した。

(1) 製材工場

都道府県別に製材工場を製材用動力の出力数により、全数調査階層（製材用動力の出力が75.0kW以上の工場）と標本調査階層（製材用動力の出力が7.5kW以上75.0kW未満の工場）に区分した。標本調査階層は抽出率3分の1の系統抽出により調査対象（標本）を抽出した。

なお、調査年に新規に操業を開始又は操業を再開した工場については、全てを調査対象とした。

(2) 合単板工場

都道府県別、工場類型別（単板専門工場、普通合板工場及び特殊合板専門工場）に、単板専門工場は前年の単板製造用素材入荷量、普通合板工場は前年の普通合板生産量、特殊合板専門工場は前年の特殊合板生産量により、次のとおり規模階層区分を行い、規模階層区分ごとに調査対象を抽出した。

なお、都道府県別の母集団となる工場類型別の工場数が3工場以下の場合は、規模階層区分は行わず、全ての工場を調査対象とした。（下例は、単板専門工場の事例である。普通合板工場、特殊合板専門工場についても単板専門工場に準じ規模階層区分及び調査対象の抽出を行った。）

ア 第1階層

前年単板製造用素材入荷量の最も多い工場から順に配列し、その累積入荷量はその都道府県の前年単板製造用素材入荷量の70%を上回るまでの単板専門工場を第1階層とし、該当する全ての工場を調査対象とした。

イ 第2階層

前年単板製造用素材入荷量の最も多い工場から順に配列し、その累積入荷量はその都道府県の前年単板製造用素材入荷量の90%を上回るまでの単板専門工場から第1階層に属する単板専門工場を除いた単板専門工場を第2階層とし、系統抽出の方法により調査対象を選定した。

なお、調査を行う対象数は、次の計算式により算出した。

$$\text{調査対象数} = \frac{\text{単板製造用素材入荷量の計} \times 8\% (0.08)}{\text{第2階層の1工場当たりの単板製造用素材入荷量 (平均)}}$$

ウ 第3階層

第1階層及び第2階層に属する単板専門工場以外の単板専門工場を第3階層とし、系統抽出の方法により調査対象を選定した。

なお、調査を行う対象数は、次の計算式により算出した。

$$\text{調査対象数} = \frac{\text{単板製造用素材入荷量の計} \times 2\% (0.02)}{\text{第3階層の1工場当たりの単板製造用素材入荷量 (平均)}}$$

エ 調査年に新規に操業を開始又は操業を再開した工場については、全てを調査対象とした。

(3) 木材チップ工場

都道府県別、兼営区分別（専門工場、製材又は合単板工場との兼営工場）に、前年の木材チップ生産量により、(2)合単板工場に準じ規模階層区分、調査対象の選定を行った。

なお、都道府県別の母集団となる兼営区分別の工場数が3工場以下の場合は、規模階層区分は行わず、全ての工場を調査対象とした。

また、調査年に新規に操業を開始又は操業を再開した工場については、全てを調査対象とした。

3 調査対象数

調査対象数及び回収数は以下のとおり。

	調査対象数	回収数	回収率
製材工場	4,018	3,857	96.0
合単板工場	156	145	92.9
木材チップ工場	912	912	100.0

4 調査事項

製材に用いる動力の出力数、従業者数、素材の入荷量及び消費量、製材品の出荷量、合板の生産量、木材チップの生産量

5 調査期間

調査期日を平成21年12月31日現在とし、過去1年間の状況について調査した。

6 調査方法

オンライン、郵送又は統計調査員が調査対象の代表者に調査票を配布して行う自計調査の方法により行った。なお、自計申告調査の方法により調査を実施できない場合は、統計調査員による当該代表者に対する面接調査の方法により行った。

7 推計方法

推定は、都道府県別に以下のとおり製材工場、木材チップ工場及び合単板工場ごとに行い、全国結果は都道府県結果の積算により作成した。

なお、工場数については、調査対象の選定に当たって作成した「工場一覧表」を用いて、都道府県別、製材用動力の出力規模別等を作成した。

(1) 製材工場

推定は、以下の推定式のとおり行った。

$$X = \frac{\sum_{i=1}^n x_i}{\sum_{i=1}^n y_i} \cdot Y + S + P$$

X : x の合計値の推定値

n : 小規模出力階層の標本工場数

x_i : 小規模出力階層の i 番目標本工場の x の値

y_i : 小規模出力階層の i 番目標本工場の調査年の前年の素材消費量

Y : 小規模出力階層の調査年の前年の素材消費量の合計

S : 大規模出力階層の x の合計値

P : 新規調査階層の x の合計値

(2) 合単板工場

推定は、工場類型別ごとに以下の推定式のとおり行い、工場類型別の推定値を合計して全体の推定値とする。

なお、推定式中の「y_{ij}」及び「Y_i」については、単板製造用素材に関する項目の推定においては「単板製造用素材の入荷量」、普通合板の生産量に関する項目の推定においては「普通合板生産量」、特殊合板の生産量に関する項目の推定においては「特殊合板生産量」を用いた。

(工場類型別の推定式)

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{n_i} x_{ij}}{\sum_{j=1}^{n_i} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

X : x の合計値の推定値

L : 標本調査階層（規模階層の第2階層及び第3階層）の数

n_i : 標本調査階層の i 番目の階層の標本工場数

x_{ij} : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の x の値

y_{ij} : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の調査年の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）

Y_i : 標本調査階層の i 番目の階層の調査年の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）の合計

S : 第1階層の x の合計値

P : 新規調査階層の x の合計値

(3) 木材チップ工場

推定は、兼営区分別ごとに次の推定式のとおり行い、兼営区分別の推定値を合計して全体の推定値とした。

なお、推定式中の「 y_{ij} 」及び「 Y_i 」については、木材チップ用素材に関する項目の推定においては「木材チップ用素材の入荷量」、木材チップ生産量に関する項目の推定においては「木材チップ生産量」を用いた。

(兼営区分別の推定式)

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{n_i} x_{ij}}{\sum_{j=1}^{n_i} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

X : x の合計値の推定値

L : 標本調査階層（規模階層の第2階層及び第3階層）の数

n_i : 標本調査階層の i 番目の階層の標本工場数

x_{ij} : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の x の値

y_{ij} : 標本調査階層の i 番目の階層の j 番目標本工場の調査年の前年の木材チップ用素材の入荷量（木材チップ生産量）

Y_i : 標本調査階層の i 番目の階層の前年の木材チップ用素材の入荷量（木材チップ生産量）の合計

S : 第1階層の x の合計値

P : 新規調査階層の x の合計値

8 目標（実績）精度

本調査においては、目標精度は設定していない。

9 用語の解説

(1) 素材需給関係

素 材	材	用材（薪炭材及びしいたけ原木を除く。）に供される丸太及びそま角をいい、輸入木材にあっては、大中角、盤及びその他の半製品を含めた。
素 材 需 要 量		各需要部門（製材工場、木材チップ工場及び合単板工場）への素材の工場入荷量（材種別及び樹種別素材入荷量）を用いた。 また、素材需要量＝素材供給量とし、素材供給量のうち国産材を素材生産量とし、樹種別素材入荷量を都道府県産別に把握し、都道府県別及び樹種別素材生産量を算出した。
南 洋 材		ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン、パプアニューギニア等の南方地域から輸入される木材の総称で、きり、リグナムバイタ及びチークの3樹種を除いたすべての樹種をいう。
うち、ラワン材		フタバガキ科に属する樹木で、一般にラワン類と称されるものの総称である。
米 材		アメリカ及びカナダの地域から輸入される材で、樹種は問わない。主要樹種は、米つが、米まつ、スプルース、米すぎ、米ひのき等である。
北 洋 材		ロシアから輸入される材で、主要樹種は、北洋からまつ、北洋えぞまつ、北洋とどまつ等である。
ニュージーランド材		ニュージーランドから輸入される材で、主要樹種は、ニュージーランドまつ（ラジアタパイン）である。
その他の外材		南洋材、米材、北洋材、ニュージーランド材以外の輸入材である。

(2) 製材関係

製 材	材	製材機を用いて、素材から板類、ひき割類又はひき角類（以下「製材品」という。）を生産することをいう。
製 材 用 動 力		製材用機械を動かす動力（モーター等）をいい、製材機の他、

	これに付属する設備（目立て機、巻き上げ機、ベルトコンベアー等）の動力も含めた。
従業者数	<p>製材工場に勤務する作業員及び職員で、常雇・臨時雇の別は問わない。また、会社役員のうち、事務職員を兼ねて一定の事務に従事し、一般職員と同じ給与規則によって給与を受ける者も含めた。</p> <p>なお、木材チップ工場との兼営工場の従業員で両方の業務に従事している場合は、その従事する業務の主たる工場に属する者とし、統計上の重複を避けることとした。</p>
製材用素材入荷量	製材に供するために工場土場（工場に隣接している駅土場や貯木場も含む。）に入荷した素材の量で、転売したものを除き、賃びきを依頼されたものを含める。
素材消費量	製材機にかけた素材の量をいう。
製材品出荷量	手持ち材による製材品で販売したもの及び自家業務用に消費したもの並びに賃びき材による製材品の量をいう。
建築用材	土台、柱、桁、板等建築用に仕向けられる材をいう。
板類	厚さが7.5cm未満で、幅が厚さの4倍以上のものをいう。また、板類には、床板用原板（えん甲板用原板、広葉樹フローリング用原板）を含む。
ひき割類	厚さが7.5cm未満で、幅が厚さの4倍未満のものをいう。
ひき角類	厚さ及び幅が7.5cm以上のものをいう。
土木建設用材	コンクリートパネル、土止め板、橋りょう用材等の土木用仮設材をいう。ただし、鉄道まくら木は除いた。
木箱仕組板・ こん包用材	りんご箱、みかん箱、魚箱等多くの場合セットになっている仕組板、機械こん包用材、電線巻き取り用材等をいう。
家具・建具用材	たんす、テーブル、キャビネット等の家具用及び窓枠、障子、ふすま等の建具用に仕向けられる材をいう。
その他用材	上記に分類されない用途に用いるもので、造船車両用材、まくら木、機械部分用材、運動用具、腕木、たる・おけ用材、木型用

人工乾燥材	材等である。 乾燥施設によって人工的に温度・湿度を調節し乾燥処理をしたもので、含水率25%以下のものをいう。
-------	---

(3) 合 単 板 関 係

合 板	原則として単板を3枚以上繊維方向を直角に接着剤で張り合わせたものをいう。
-----	--------------------------------------

普 通 合 板	合板の表面にオーバーレイ、プリント、塗装等の加工を施さない合板をいい、主に内壁等の建築用に使用される。
---------	---

ベニヤコア合板	心板に単板を使用して製造した合板をいう。なお、類別区分はJASの下記分類による。
---------	--

1 類	長期間の外気及び湿潤露出に耐え、完全耐水性を有するように接着しているものをいい、特類合板（野外又は常時湿潤状態に耐える超完全耐水性を有するもの。）を含めた。
-----	--

2 類	通常の外気及び湿潤露出に耐え、普通の耐水性を有するように接着している合板をいう。
-----	--

特殊コア合板	心板に単板以外の材料を使用して製造した合板をいう。
--------	---------------------------

針 葉 樹 合 板	針葉樹材で製造された合板をいい、本調査では「全針葉樹合板」のみを調査対象とした。
-----------	--

特 殊 合 板	普通合板の表面にオーバーレイ、プリント、塗装等の加工を施した合板をいい、主に住宅の内装や家具等に使用される。
---------	--

オーバーレイ合板	ポリエステル化粧合板、塩化ビニル化粧合板及びジアリルフタレート化粧合板をいう。
----------	---

ポリエステル化粧合板	表面に紙又はこれに類する繊維質材料を主基材とし、ポリエステル樹脂を主材とした熱硬化性樹脂を結合剤又は化粧剤としてオーバーレイ加工した合板をいう。
------------	--

塩化ビニル化粧合板	表面に塩化ビニル樹脂シート又は塩化ビニル樹脂フィルムをオーバーレイ加工した合板をいう。
-----------	---

ジアリルフタレート化粧合板	表面に紙又はこれに類する繊維質材料を主基材とし、プロピレン樹脂の塩素化によって得られるアリルクロライドとフタル酸を主原料としたジアリルフタレート樹脂をオーバーレイ加工した合板をいう。
プリント合板	表面に印刷加工を施した合板をいう。この場合、ダイレクト、ラミネートの両方を含めた。なお、印天合板は、ここを含めず、その他の合板を含めた。
塗 装 合 板	表面に木材用塗料（主としてニトロセルローズラッカー、アミノアルキド樹脂塗料、ポリエステル樹脂塗料等）を塗装した合板をいい、透明塗装合板、不透明塗装合板の種類がある。
天然木化粧合板	表面に木材質特有の美観を目的として薄単板を張り合わせた合板をいう。なお、張天合板は、ここを含めず、その他の合板を含めた。
その他の合板	上記以外の特種合板でメラミン化粧合板、変性メラミン化粧合板、その他のオーバーレイ加工合板、印天合板、張天合板及び床用合板をいう。
木質複合床板	合板を基材とし、木質系材料を重ねて接着し、さねはぎ加工その他所要の加工を施した床板をいう。

(4) 木 材 チ ッ プ 関 係

木 材 チ ッ プ	チッパー等を用いて製造したパルプ、紙、繊維板及び削片板等の原料とする木材の小削片をいう。
木材チップ生産量	木材チップ工場におけるチップ生産量で、単位は絶乾重量（t）である。
工 場 残 材	製材工場、合単板工場及びその他木材加工工場で製品を製造した後にできる端材をいう。
林 地 残 材	立木伐採後の林地において玉切り、造材により生じた根株、枝条等をいう。
解体材・廃材	家屋等を解体した際の古材並びに電柱材、足場丸太、くい丸太及びまくら木など既に利用に供された木材をいう。

10 統計の表章

合単板結果の地域別統計区分とその範囲は、下表のとおりである。

地域名	所属する都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡
東海	岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

注：沖縄は秘密保護の関係上、九州に含めた。

11 その他

この資料の詳細は、追って刊行する『平成21年木材需給報告書』に掲載する。

【 ホームページ掲載案内 】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>

この結果の分野別分類は「森林・林業」に分類しています。

【 関連リンク 】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>基本政策

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

林業政策関係ページ：農林水産省>林野

<http://www.rinya.maff.go.jp/>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班
電話：03(3502)5665

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画課 広報普及班
電話：03(6744)2037